

平成 25 年 度

決 算 報 告 書

第 10 期

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

国立大学法人 名古屋大学

平成25年度 決算報告書

国立大学法人 名古屋大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入	109,321	112,923	3,602	
運営費交付金	31,359	33,051	1,692	(注1)
施設整備費補助金	12,864	9,870	△2,994	(注2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	11,726	10,257	△1,469	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	81	81	0	
自己収入	40,390	43,327	2,937	
授業料、入学金及び検定料収入	8,986	8,961	△25	(注4)
附属病院収入	30,723	33,311	2,588	(注5)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	681	1,055	374	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	12,739	16,132	3,393	(注7)
引当金取崩	162	205	43	(注8)
長期借入金収入	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	0	0	
計	109,321	112,923	3,602	
支出	109,321	108,003	△1,318	
業務費	67,301	68,892	1,591	
教育研究経費	37,286	34,941	△2,345	(注9)
診療経費	30,015	33,951	3,936	(注10)
施設整備費	12,945	9,951	△2,994	(注11)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	11,726	10,257	△1,469	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	12,739	14,279	1,540	(注13)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	4,610	4,624	14	(注14)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	109,321	108,003	△1,318	
収入 - 支出	0	4,920	4,920	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、前年度繰越予定事業に係る執行計画の見直し及び追加交付分により、予算額に比して決算額が1,692百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、前年度繰越予定事業に係る執行計画の見直しに伴う翌事業年度への繰越により、予算額に比して決算額が2,994百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、国等からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が2,001百万円多額となっています。また、前年度繰越予定事業に係る執行計画の見直しに伴う翌事業年度への繰越により、予算額に比して決算額が3,470百万円少額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、学生在籍者見込数等の減などにより、予算額に比して25百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、手術件数及び平均在院日数の短縮に伴う診療単価の増により、予算額に比して決算額が2,588百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、駐車場収入、著作権及特許権収入及び財産貸付料などの増収により、予算額に比して決算額が374百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究及び寄附金の受入れ増により、予算額に比して決算額が3,393百万円多額となっています。なお、受託研究費等の前期からの繰越額は957百万円となっています。
- (注8) 引当金取崩については、退職者の増加により、予算額に比して決算額が43百万円多額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、執行計画の見直しに伴う翌事業年度への繰越により、予算額に比して決算額が2,345百万円少額となっています。
- (注10) 診療経費については、病院収入の増により、予算額に比して決算額が3,936百万円多額となっています。
- (注11) 施設整備費については、前年度繰越予定事業に係る執行計画の見直しに伴う翌事業年度への繰越により、予算額に比して決算額が2,994百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、国等からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が2,001百万円多額となっています。また、前年度繰越予定事業に係る執行計画の見直しに伴う翌事業年度への繰越により、予算額に比して決算額が3,470百万円少額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究等の受入件数の増により、予算額に比して決算額が1,540百万円多額となっています。
- (注14) 長期借入金償還金については、借入金利率の見直しなどにより、予算額に比して決算額が14百万円多額となっています。